

II 西会津町の動物 ■コンチュウ



幼虫

【キアゲハ】

4月初め頃から10月頃まで見られます。食草となるセリ、ミツバ、ニンジンなどの葉に1個ずつ卵を生みつけます。幼虫は成長とともに体の模様がかわっていきます。模様が変化していく様子を調べてみましょう。



【ベニシジミ】

食草のスイバ、ギシギシなどの茎の地面すれすれの所に卵を生みつける変わった性質をもっています。幼虫は表皮だけを残して葉の裏側を食べます。

【ウスバシロチョウ】

幼虫はえさを食べる時だけ草に集まり、ふだんはまわりの枯草などにとまっています。ヤマエンゴサク、ムラサキケマンなどを食草とします。

